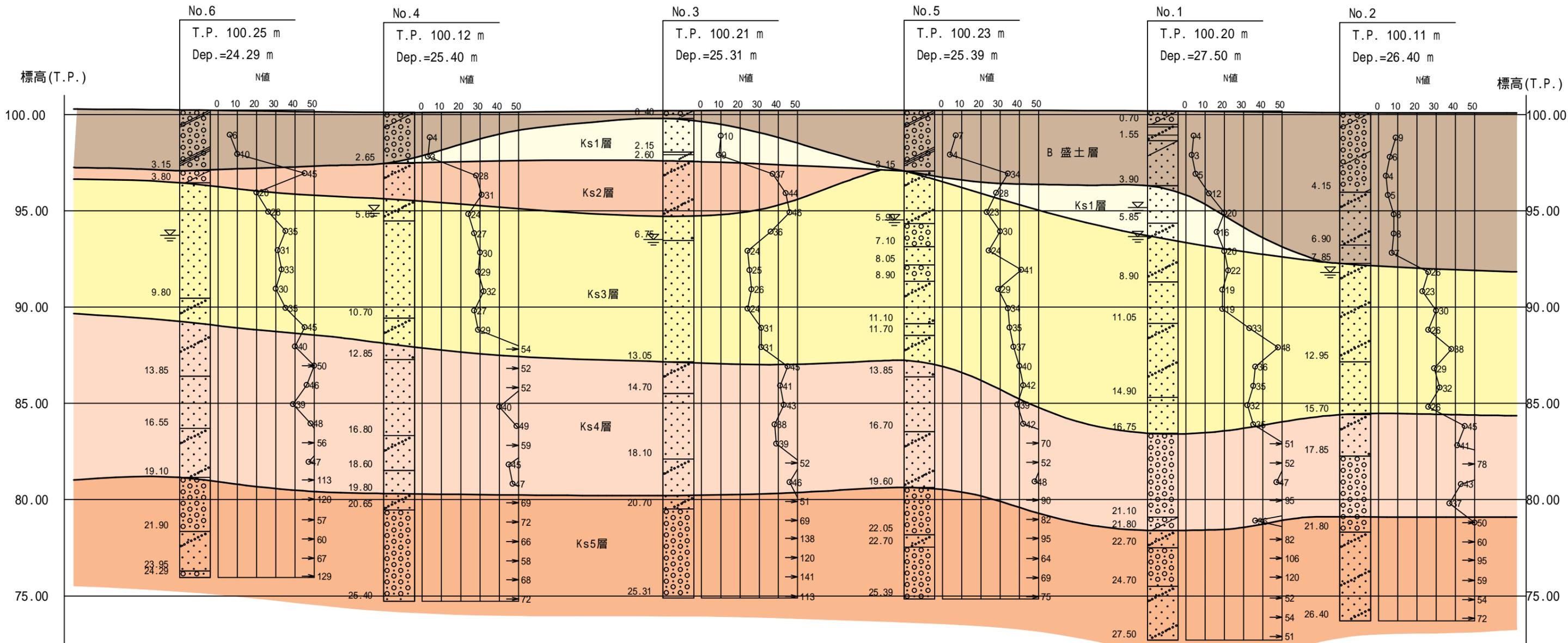
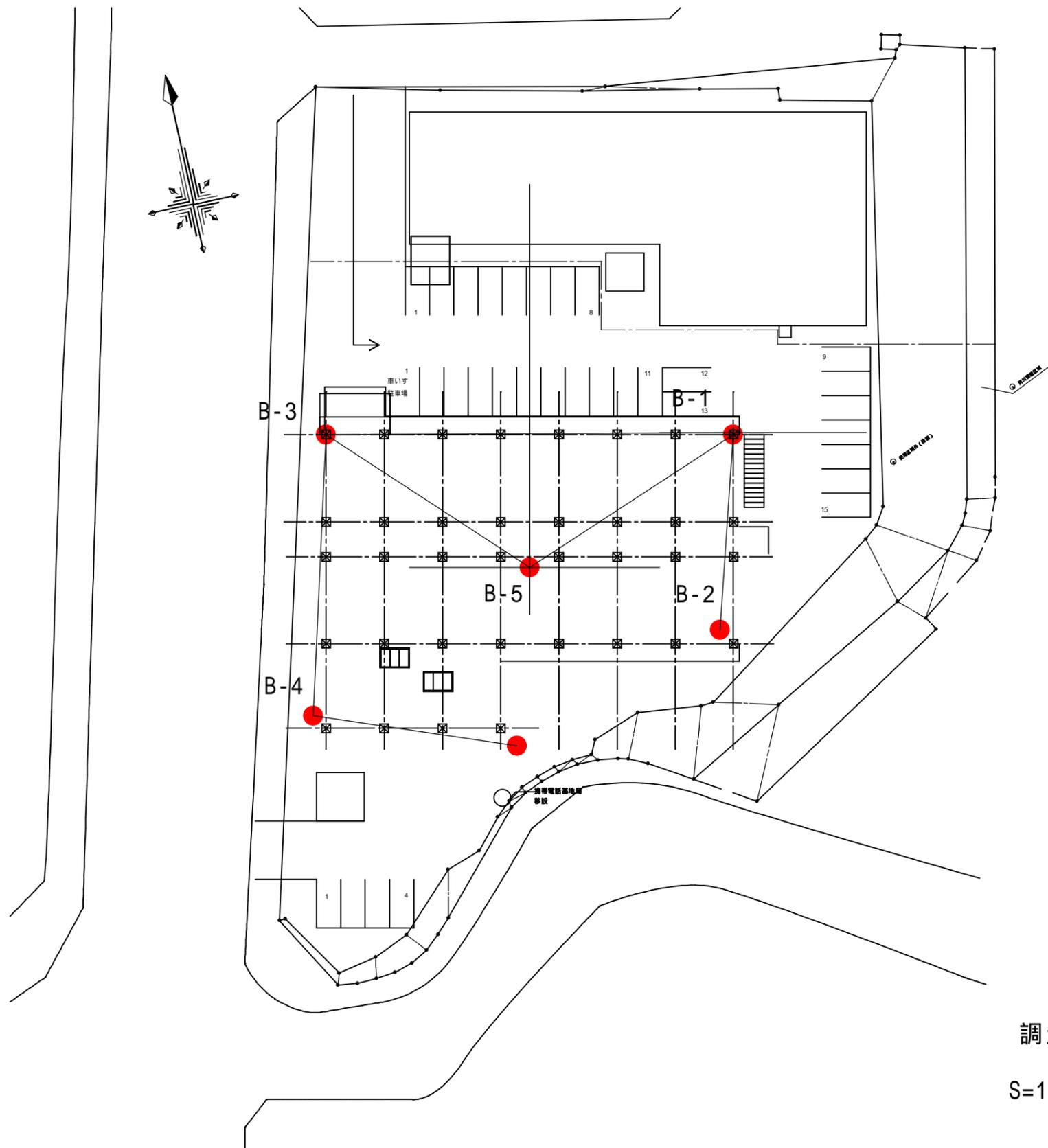


層序表

地質時代	地層名	記号	層相	N値の主な範囲
現世	盛土	B	細粒分まじり礫。2~30mmの礫を主体とする。最大礫径80mm程度。植物片やAs殻などを含む。3m程度の層厚で分布するが、No.3では0.4mと薄く、No.2では7.85mと厚い。	3~9
第四紀	前期更新世 古琵琶湖層群 草津層・瀬田礫部層	Ks1	細中砂主体。細粒分を混入する。また微細砂-礫分を含む粘性土層が分布。含水少位-中位。緩い層である。No.1並びにNo.3に分布。	9~16
		Ks2	礫混じり砂と砂を主体。砂は細中砂主体。2~20mmの亜角-亜円礫を混入する。風化礫を混入する。含水少位。密実なもの。No.3、No.4、No.6地点に分布。	28~46
		Ks3	礫混じり砂と砂の互層状。細中砂主体。礫は2~10mmの亜角-亜円礫を主体。20mm前後も含む。風化礫を混入する。細粒分を部分的に混入。含水少位。相対密度はやや密実なもの。	22~36
		Ks4	礫混じり砂と砂を主体。砂は細中砂主体。2~20mmの亜角-亜円礫を混入する。風化礫を混入する。細粒分を部分的に混入。含水少位。密実なもの-非常に密実なもの。	37~54
		Ks5	礫質土-礫混じり砂層。2~20mmの亜角-亜円礫主体。マトリックスは細中砂。最大礫径50mm程度。チャート、花崗岩、花崗斑岩礫を混入。風化礫を含む。含水少位。非常に密実なもの。	50~106





調査位置図

S=1/500 (A-3)